

“尾瀬の木道ペーパー”の製造工程



ハイカーの安全と尾瀬の自然を守る木道



10年周期で毎年約2kmの架替工事を実施
車が入れないためヘリコプターで搬出



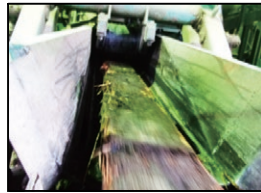
集積された木道



パーカーへ投入



切削直後のチップ



チップパー機へ投入



腐食部分を除去



腐食、砂、泥などを除去



マグネットによる金属類の除去



チップスクリーンにてサイズの分別



尾瀬の木道チップの山



リフトでトラックへの積み込み



針葉樹蒸解釜の全景。
上部からチップを流し、
最下部で繊維を取り出す工程



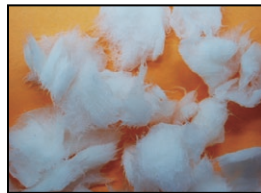
チップを紙の樹脂を溶かし出す
蒸解釜(じょうかいがま)へ投入



紙の原料となるチップ化された木道



中越パルプ工業高岡工場
トラック2台分降ろした状態



木道パルプ。
取り出した繊維から脱水と
漂白を繰り返して作られる



抄紙(しょうし)機により紙を製造



尾瀬の木道ペーパーの出来上がり



尾瀬国立公園の木道を再利用した循環型印刷商品
商品には「尾瀬の木道ペーパー」が使用されていることを表すロゴマークを入れることができます。